

第40回 まぶたが腫れたときは

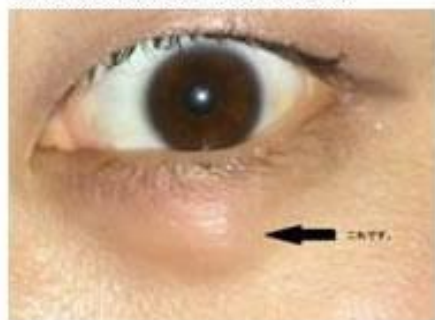
(1) 麦粒腫

「麦粒腫」はまぶたの腫れに伴って、痛み、赤みやゴロゴロ感があるものが多いです。麦粒腫は2種類に分けられます。1つ目は、眼の脂を出す腺(マイボーム腺)に細菌が感染することで発症する内麦粒腫です。2つ目は汗腺(モル腺)と皮脂腺(ツァイス腺)に感染が起こる外麦粒腫です。症状は、初めは少しかゆいだけですが徐々に腫れや痛みが出てきます。寝不足やストレスなど免疫力が低下した時や季節の変わり目に起こることが多いようです。



(2) 霰粒腫

「霰粒腫」は、痛みがなくしこりのような腫れやできものがある場合が多いです。ただし、細菌感染がある場合は「化膿性霰粒腫」と呼ばれ、痛みや赤みなどの症状を伴うこともあります。霰粒腫は脂を出すマイボーム腺に脂が詰まってしまうことで起こります。長期間放っておくと大きくなってしまふこともあります。



(3) 当院の取り組み

当院ではそれぞれの症状に合わせた抗菌や抗炎症の点眼薬や眼軟膏を処方しております。

まぶたの腫れは放置することで悪化してしまうことや、似た症状で別の病気が隠れている可能性もあります。

自己判断をせず、お近くの眼科を受診なさるようお願い致します。

(2016.10.25)